

半田市民の公共交通利用実態および意識に関するアンケート調査 結果概要

質問項目		全体 (N=1,200)			小学校区別	
属性 (単一回答)		・性別、年齢、職業等、大きな偏りなく様々な立場の市民から回答を得た。			・小学校区別でもほぼ必要な回答数を得た。(さくら小学校区のみ回答が50未満のため現在追加調査中)	
問1 目的別の行き先 (複数回答)	駅 (N=1,117)	1位: 名鉄知多半田駅 (244人) 2位: 名鉄青山駅 (223人) 3位: JR亀崎駅 (200人)	【頻度】 N=1,200 1位: 年に3・4回程度 (33.0%)	【移動満足度】 ・満足 (19.4%) ・不満 (13.6%)	【到達可能性】 ・できる (70.2%) ・できない (11.3%)	【知多半田駅】 半田、さくら、雁宿、成岩、宮池で割合が高い 【青山駅】 板山、花園で割合が高い 【亀崎駅】 亀崎、横川、乙川東で割合が高い 【その他】 ・乙川→乙川駅 ・有脇→東浦駅、大府駅
	病院 (N=1,050)	1位: 市立半田病院 (309人) 2位: あべクリニック (47人) 3位: 春田医院 (42人)	【頻度】 N=1,200 1位: 月に1・2回程度 (32.7%)	【移動満足度】 ・満足 (23.8%) ・不満 (7.7%)	【到達可能性】 ・できる (55.4%) ・できない (18.7%)	【半田病院】 その他を除くと、横川以外の各地区で割合が高い
	買い物 (N=1,040)	1位: パワードーム半田 (271人) 2位: フィールCフェスタ (131人) 3位: ピアゴ半田店 (125人)	【頻度】 N=1,200 1位: 週に1・2回程度 (47.5%)	【移動満足度】 ・満足 (31.0%) ・不満 (5.1%)	【到達可能性】 ・できる (60.4%) ・できない (19.8%)	【パワードーム半田】 さくら、乙川、横川、乙川東で割合が高い 【フィールCフェスタ】 成岩、板山、花園で割合が高い 【ピアゴ半田店】 半田、成岩で割合が高い →各地区の近くの商業施設へ買い物に行く傾向にある (?) 【その他】 ・岩滑→フィールエクス半田店 ・亀崎→トライアル半田亀崎店
	公的機関 (N=940)	1位: 半田市役所 (540人) 2位: 博物館・図書館 (186人)	【頻度】 N=1,200 1位: 年に3・4回程度 (30.4%)	【移動満足度】 ・満足 (20.8%) ・不満 (8.5%)	【到達可能性】 ・できる (51.3%) ・できない (17.2%)	【半田市役所】 各地区とも高い割合 【博物館・図書館】 雁宿、宮池、花園で割合が高い
問2 運転免許の保有状況 (単一)	運転免許を持っている (78.3%) > 運転免許を持ったことがない (15.3%) + 返納した (4.7%)			・各地区とも10~30%の市民が自動車運転免許を保有していない		
問3 自家用車の利用可能性 (単一回答)	1位: 自分が自由に利用できる自家用車がある (70.3%) 2位: 自家用車があり家族にらせてもらうことができる (13.3%)			・横川を除き、各地区10%程度の人が車を自由に使えない		
問4-1 自家用車をやめられるか	やめられない (まったく無理) (65.8%) > やめられる (4.9%) + 時々だったらやめられる (25.2%)			-		
問4-2 やめられない理由 (複数回答、N=2,067)	1位: バス・鉄道だけでは目的地に行けない (498人) 2位: 荷物が重い (359人)、3位: バス・鉄道の移動時間がかかりすぎる (281人)			-		
問5-1 知多バス認知度 (複数回答)	1位: 自宅の最寄りバス停の場所 (627人) 2位: 知多バスが走っているということしか知らない (429人)			・バス路線のない岩滑、雁宿以外の各地区は、約30%が「自宅の最寄りバス停」について認知 ・各地区とも知多バスのことを知らない人が30~40%の割合で存在		
問5-2 知多バス利用状況 (単一回答)	1位: 利用したことはない (53.7%) 2位: ほとんど利用したことはない (26.5%) ・普段から利用+車が利用できないとき利用+雨天時に利用 (8.9%)			・知多バスの利用は、板山で最も高い		
問5-3 全目的を合わせた知多バス利用頻度 (単一回答、N=106)	1位: 年に数回程度 (63.2%) 2位: 月に数回程度 (21.7%)			-		
問5-4-1 最も多い知多バス利用目的 (単一回答、N=110)	1位: 買い物 (28人)、2位: 通院 (17人)、公共施設の利用 (17人) 3位: 中部国際空港 (15人)			-		
問5-4-2 最も多い目的の利用頻度 (N=106)	1位: 年に数回程度 (57.5%) 2位: 月に数回程度 (21.7%)			-		
問5-4-3 最も多い目的の目的地 (記述式、N=110)	1位: 中部国際空港 (16人) 2位: 半田市役所 (15人)、3位: 市立半田病院 (13人)			-		
問5-5 知多バスを利用しなくなった理由 (複数回答、N=138)	1位: 卒業・退職・転職などにより、利用する目的が無くなった (36人) 2位: バスで外出するのが難しくなった (20人) 3位: ダイア改正によって、利用したい時間帯のバスが無くなった (19人)			・「利用していた路線 (区間) が廃止になった」の割合が岩滑、雁宿で高い (注意: ともに回答者が少数のため、1人の差による割合の変動が大きい)		
問5-6 知多バスをより利用するための施策 (複数回答)	1位: どうなってもバスを利用することはない (491人) 2位: 本数が増える (290人) → 30分以下に1本 (91%) 3位: 目的地への路線ができる → 1位: 中部国際空港 (19人)、名鉄知多半田駅 (19人)			・各地区とも全体の傾向と同様		
問6 バスと鉄道の乗り継ぎにおいて重視点 (複数回答、N=1,170)	1位: 待ち時間が短い (572人) 2位: 乗換え時の歩行距離が短い、階段がない (209人)			・ (地区別による違いは出ない設問のため集計なし)		
問7 タクシーの利用頻度と主な乗車場所 (記述式)	【利用頻度】 (N=1,200) 0回 (42.5%)、1~5回: 29.1% 【乗車場所】 1位: 自宅 (138人)、2位: 名鉄知多半田駅 (103人)、3位: 名鉄青山駅 (30人)			-		
問8 最寄り駅と自宅間の移動手段に対する支払意志額 (N=1,200)	1位: 0円 (661人) 2位: 500円以上1,000円未満 (97人)			・駅に近い地区 (半田、亀崎、成岩) では、支払意志額が低い (0円) 傾向にある		
問9 路線バス維持に対する負担額の妥当性 (N=1,200)	1位: 妥当である (65.0%) 2位: 高すぎる (14.9%) → 100円以上150円未満 (179人中63人) 3位: 安すぎる (8.9%) → 500円以上1,000円未満 (107人中47人)			・ (全体の総意把握を重視し集計なし)		
問10 妥当な負担額 (N=286)						
問11 今後の公共交通への対応のあり方 (単一回答、N=1,200)	1位: 経費を増額してでも利便性を向上すべき (32.0%) 2位: わからない (29.9%)			・ (全体の総意把握を重視し集計なし)		